

## 1.1. 自由意見

【問36】 男女共同参画に対するご意見やお考えを自由にお書きください。

寄せられた多くの意見の中から、本調査に直接関係のないものや要望、重複意見等を除き、一部を紹介する。

(20代・女性)

- 特に鹿児島県は昔ながらの慣習に縛られているような気がします。結婚したら妻は家庭を支えることに専念するのが当たり前というような感じがします。このことが、晩婚化や少子化等に結びついてくるのだと思います。「区別」と「差別」は全く違うし、性別に優位性は無いのだということをもっと社会全体で広く認識、理解していくべきだと思います。
- 妊娠・出産は女性にしかできず、妊娠期間中は身体的にも精神的にも様々な変化がある。しかし、その変化をパートナーにすら理解されないときもある。それは男性が女性に対して理解力、知識がないからだと思う。学校教育だけでなく、職場でもお互いの「違い」を知る機会をつくって欲しい。今の政治の考えでは女性はたくさん子を生み、そして働けと言われてるようにしか思えない。お金がなく、苦しい生活の中でこれらを女性にだけ求めるのはあまりにも酷だと思う。本当に男女平等にしたいなら、女性が安心して妊娠・出産、そして子育てができ、男性が家族を養っていただけるだけの給料をもらえるような世の中にするのではないだろうか。それが出来ないのなら、男性が子どもを生めるようになる研究をするしかないと思ってしまう。
- 昔からの男女のイメージや慣習・しきたりなどがなかなかなくならないので、男女が平等になるのには時間がかかると思うが、これから働き、結婚・家庭を作る世代としては、男女ともに社会で活躍できる場ができてほしいと思います。
- 今回のアンケートが、先日の県知事の「女の子にサイン・コサインを教えて何になるのか」というような内容の発言を受けてのものなのかと少し考えてしまいましたが、まずは県知事の意識を再度確認させるのが先かと思われます。また、回答内容も意図的に感じられるものが少なからずあったように感じます。男女互いに協力しあうことで、男女互いに活躍の場が広がればと思います。
- 女性は家庭・子どもをもつと、自分自身（女性）もだが、周りからも、女性が子どもの面倒を見るべき、家庭の用事をするべきという考えがあり、どうしても社会中心に生活しにくい環境にあるかと思う。その様な環境・考え方なのに、“女性は家庭があるから…”などと、男性・会社から見られるのは、どうかと思う。女性の意識もだが、男女で子ども・家庭をみる、頼れるサービスを充実し、会社・社会の考えも同時にすすめていかなければ、変わっていかないと感じています。この5～10年は、上記の変化はあまり感じていない。
- 男性が育児休暇など取得しやすくするべきだと思う。
- 法律により、女性も社会で平等に働く機会を設ける動きがあるが、その法律そのものが、女性を優遇した不平等な法律である。国会、政治家、古くから働く年配の方に偏った男女差別が多く感じられるが、世間的には、女性も女性にしかできない観点を見つけ、積極的に社会で活躍している人は多い。法律によって女性が活躍する機会を与えようとする必要は無い。

(20代・男性)

- 男女がいろいろな分野で平等になっていく。女性がいろんな分野に進出することはいいことだと思う。だけど、そういうことだからといって、女性が高圧的な態度や自意識過剰になることだけは防いで欲しい。
- 男性の育児場面での参加を法的にも積極的に行えるようにして欲しい。
- 世の中の目に見える形で女性が高い役職についていれば、世間の人々が男女が平等に近づいていると実感することができ、ますます男女が平等な立ち位置になっていくことができると思います。
- あまり理解しきれていないので、もう少し理解する必要があると本アンケートで思いました。(単に自分のまわりでありあまりそのような状況がなかったこともあって考える機会がなかったんじゃないかと思います)

## (30代・女性)

- 私は以前は関東に住んでおり、結婚を機に5年ほど前に鹿児島に引越してきました。比較してしまうと、やっぱり鹿児島は女性にとってまだ働きにくいと感じています。私も実際、就職活動した時に、「新婚で子どもが出来てすぐに辞められると困る」とはっきり言われたことがあります。
- 小学校入学後の放課後や夏休みに面倒をみってくれる施設が無いと、父親、母親のどちらかが負担しないとイケなく、必然的に母親の仕事に影響が出ます。行政には施設の充実を、企業には男性社員の育児への理解の充実を望みます。特に企業においては年齢の高い人ほど、男は仕事という意識が強く迷惑です。今の20～30代の男性にはそういう意識がない人が多いと思います。小学校等でのPTA参加が任意であることを周知して下さい。PTA活動は仕事をしていると参加しづらいし、かと言って参加しないと色々言われそうだし、自由参加であることを皆が知れば良いと思います。
- 社会全体から見ても、会社組織は人が一番長く属しているもので、歴史や慣習が重んじられる傾向が強いと思います。意識調査を行っても、実態や現場を知らずに「当社はまあよくできているよ」という責任者も多いのではないのでしょうか。そのような会社に対して、行政の方々が実態調査、結果提示、指導を行ってくださると有り難いです。経営者が何をしていったら良いのか「経営者のための男女共同参画ガイドブック」を作成し、社員研修、職業訓練助成、女性登用の準備・育児休業の推進、社内交流会企画など、具体的に教えて頂ける資料があると幸いです。考えるだけでワクワク楽しくなります。男女共同参画社会に向けて、私ももっと勉強してみたいと思いました。考える機会を下さりありがとうございます!!
- 男女共同参画において一番大切なのは、男女に関係なく個人が自分の能力に合った働き方、生き方を選べるような社会になることだと思う。そのために行政のサポート(周知徹底など)が必要。女性管理職、女性議員が少ないことが問題になることがあるが、個々の希望や能力もあるので男女問わず平等に同じ機会が与えられていれば問題ではないと思う。(管理職に向いていない人もいるので。女性をムリに増やす必要もない)ただ、女性にはまだまだ消極的な人も多いので、女性も積極的・主体的に動けるように教育することは必要だと思う。
- 男女共同参画という言葉だけが、やみくもに叫ばれているだけのような印象を持っています。男女という性別の違いを重視するのではなく、すべての人が社会に参画するという意思をもつこと。また、その意思を持って活動する人たちを排除することのない社会を作っていく後押しを行政にはしてもらいたいです。
- ただのお飾りである女性トップを増やしても何の意味もないと思う。日本、特に鹿児島は男尊女卑の考えが強く感じる。強制的に数字だけ女性の数を増やしてもその女性の能力、考え方が未来の男女共同参画の意味から逸れていたり、女性の考え、発言が抑制されるような環境システムであったりすると現状は変わらないと思う。意見を聞ける体制を作ること(主に男性)。女性自身が、女性差別を女性優遇と思えないことなく積極的になること。男女ともに「対立」的でなく、「受け入れる」立場をめざすこと。以上3点が大切かなと思う。
- 男女共同参画はこれからの時代、とても重要なものになっていくと思います。身近な媒体(TVや新聞)で具体的な事例を上げてわかりやすく提示してもらいたいです。
- 子どもがいる家庭で女性が働いている場合、仕事も大事ですが家庭優先になります。(病気、学校の休みや行事)そうなった場合に、会社側の反応(職場の方々)の対応や環境が作れていない会社がまだまだ多いと思います。結婚していない方、家で何も無い方は家庭のある女性に対して理解不足な方が多いです。
- 男女といっても考え方や価値観は人それぞれ。性別に固定した制度ではなく、一人の人間として、その時の状況によって変動できるものであって欲しい。完璧な平等化は身体的に難しい。互いを尊重しあうことが大切だと感じる。
- アンケートの内容を見て、男女平等に対する質問に答えながら、男女の差(心身的な)は必ずあるので男性らしさ、女性らしさを活かせる社会づくりがとても大事だと感じた。女性は子どもを生む時期があり、その後の社会復帰の場は大切。男性がリードしながらも女性の声、女性を大切にすることに力を注いで欲しい。
- 男と女の給料の差がない家庭でも、“家事は女”との考えが根強いと思います。実際、私たち夫婦は妻の方が夫よりも給料が良いのに、そのほとんどの家事を妻がしています。“家事は女”という

考えが社会全体に根強く残っており、なかなか夫の考え方をを変えることはできません。それは、夫が悪いというよりかは、そういう風潮であること自体に問題があると私は思っております。

- 女性は妊娠や出産などがあり、全て平等というのは無理だと思う。妊娠や出産・育児を経験した人がリーダーや上司になれば、部下や後輩になる女性の気持ちを理解したり、環境も整えてあげられると思うので、女性の妊娠、出産による職離れを減らすことが出来る。結果、能力のある女性が社会で活躍する場が増えると思う。また、女性が安心して働けるよう、保育施設等も充実させる。

#### (30代・男性)

- 男女共同参画で積極的に女性登用を推進するあまり「女性だから」との理由で登用することは、逆差別になる可能性があると思う。ただ能力が伴っていれば、女性も積極的に登用すべきである。
- 女性が社会で活躍できるようにするためには、子どもが熱を出してしまった時などにお休み出来るような労働環境が不可欠になると思います。また、母親が休めない時は父親が休んで面倒を見るなど、父親の職場にも理解が無いと男女で助け合うことが出来ません。会社は利潤を追求するので、会社任せでは理想的な労働環境を構築することは出来ないと思います。その点では、法律や制度の面で政治や行政に大いに期待しています。
- 男女平等といっても、男は「女だからムリでしょ」と言って差別する。女は「私、女だからムリ」と言って逃げる。一人一人が考え方を変えないとこの問題は周りから動いてもムリだと思う。まず、国の政治の考え方からやり直さないと、国民はついていけないと思います。
- 生活の中で男女の間に差が出ないようにお互い5:5の関係が良いと思います。夫婦の場合は立場で時と場合によって夫を立てたり、妻を立てたり、お互いがやりやすい環境になってほしいと私は思います。
- 男女共同参画に対する鹿児島市の活動や組織があまりにも知られていないように感じます。活動のPR等の機会や媒体を増やしてはどうでしょうか。
- 乳児や子どもを一時的にでも預かって下さる場所がもっと増えたら仕事の両立や家庭内での育児ストレスの減少に繋がると思います。実際あったとしても、その場所を知るツールが男性側に分かれば提案もできるし、夫婦の時間を作ることができると思います。嫁が知っていても夫が知らない提案しにくいし、こちら側としても協力しづらいので。
- 男女平等、均等とは何でしょう？それぞれ男女の性格および体格が違い、同じにする事は無理に近いと思います。平等、均等を望まない人もいると思います。
- 女性優遇も度が過ぎると、男性の立場が低くなると思うので、注意が必要だと思う。

#### (40代・女性)

- 昔のような男尊女卑は良くないが、男性らしさ、女性らしさの部分は大事にしていけたらと思います。
- このアンケートが意味のあるものになるよう願っています。家庭でも、職場でも、男女平等は難しいことだと思います。出来ることがお互い違うから、どうしても偏りが出ると思います。まずは、女性を見下す事を言う人間を改善すべきかと思います。女がやれば、女のすることだ、などと口走る人間がいては男女平等など無いでしょう。ただ、父子家庭に関しては、もっと家庭的な援助・助成すべきだと思います。大変なのは、母子家庭だけではありません。子育てもお金があつてこそです。宜しく願います。
- 女性は妊娠、出産で体力を使い、体質が変化したりするので男性と同等に社会参加は出来ないと思います。(あまり影響を受けない女性もいますが) 子育ても我が家の場合は主人の残業時間が長く、平日は協力出来ませんでした。保育園の頃はフルタイムで仕事を続けていましたが、小学校入学を機に子どもの帰宅時に家にいてあげたい事や、行事の参加など考えパート勤務になりました。共働き世帯が増え、大切な子育てが蔑ろになっては子供達がかわいそうです。健全な育成が出来ないと思います。男性は就労時間が長いと仕事だけで疲れてしまい、家事や育児まで出来ないと思います。結局、女性が仕事・家事・育児を頑張るしかなく、平等には行かないと思います。日本人は働きすぎなので、ワークライフバランスが改善されればもっと豊かな生活が送れると思います。

- 「女女格差」も存在する。女性リーダー達の構成（既婚、未婚、子あり、子なし）によってパワーバランスが出来上がる現実は少なくない。単にリーダーとなる女性人数を増加するだけでなく、理想とする女性のリターン像、ロールモデルを明確にし（モーレツ女性職員がそうならないように祈る）教育することが最も優先されるべき課題だと思う。女性リーダーが複数いる場合には、既婚、未婚を同率にする等の配慮は必須。
- つい最近もこの県内であったことなのですが女性軽視と捉えられる発言問題がありました。すごく残念で怒り心頭です。このような発言（女性に難解な専門的学術を教える必要があるのかといった旨）はこれまでの事例を見ても分かる通り大問題となるのは明白な筈です。なのに何故発言する側は理解していないのでしょうか？ましてや立場上、自分の発言が世に与える影響がいかなるものかを考えて然るべきではないのでしょうか？鹿児島はただでさえ「男尊女卑の国」と叩かれているのに…男女共同参画の思想や活動は立派だと思いますので、上の立場の方から先ず手本となるような行動を示して頂きたいものです。
- 地域には青年部や子ども会と同様に婦人部とか婦人会というのがあります。これが女性の意識を「いわゆる女性の役割（昔ながらの）」に固定してしまっている元になっているような気がしてなりません。何か行事がある度に婦人部が湯茶の接待を率先してやっていることが、男女の役割差別を助長しなかなか無くせなくしていると思います。女性だから、婦人部に所属しないとイケないという暗黙のルールもストレスの一つです。男女が真に平等である社会を目指すなら、婦人会は必要ないと思います。
- 男女平等は全てを平等にする。という考えでいくのは違うと思います。会社や政治などは能力があれば平等の立場にあるべきだと思いますが、男女は基本性別が違うので平等になれるはずがない、と私は思います。子どもは女性にしか産めません。でも育児ができない女性もいるので、男性が育児しやすい環境づくりも必要だと思います。ケースバイケースで進めていくことが良いと思います。
- 本当に、女性が社会へ進出することが女性の幸せに繋がるのでしょうか？仕事をして、家事・育児をして自分の時間もあまり持たず、子どもの成長も十分に見られず、子どもに寂しい思いをさせ、でも子供の教育のため、少しの贅沢のため、将来の年金のため、頑張っている。昔のように、終身雇用できちんと昇進できて男性が一人で家族を養っていきけるだけの収入が得られれば、家事くらいは頑張って子どもの近くで子どもの成長をじっくり見られるのにとします。もちろん働きたい女性が働きたい社会になった方が良いと思いますが、そのことにより「働かない」という選択をしづらくなっている気がします。女性が働きやすい社会よりも、男性が十分稼げる社会にして欲しいと思います。
- 男女問わず、得意分野とそうでない部分があると思います。「男性でも家事、育児をメインとされる方や、女性で仕事を優先したい方」の個性や意思を反映できる社会になるといいなと思います。
- 鹿児島は特に県民性なのか、男性よりも女性の方が「女性は社会的に活動することを「良い」としない」傾向にあると思う。「さつまおごじょ」という言葉は嫌いです。

#### (40代・男性)

- 世の中の考え方と逆行するかもしれませんが、男女共同参画が進むほど結婚が遅くなり、少子化に繋がる悪循環のような気がします。職場によってはこの法律によって女性の入社が増えるものの、体力や体調の問題で仕事が制限され、結果比較的容易な仕事のみを女性に対応し、男性の作業量が目に見えないスピードで増加していると思う。まずは働く職場によって導入が望ましいと思う。
- まず、女性がはたらきやすくする制度。託児設備、介護設備を早急に準備することが先決。多少税金が上がってもしかたないのではないかな。
- 個々への認識度向上の施策が必要であると感じます。意識が変われば、行動も変わるとします。
- 性別の違いで差別するのは良くないことだが、男と女とは身体的、思想的に差があること、違うということを差別ではなく差違であることを理解しないとイケないと思う。また、教育の場でも指導が必要だと考える。差別ではなく、異性に対し異性としての敬いが必要だと思う。

- このアンケートの質問や回答に偏見があると感じました。社会の制度では女性のほうが優遇されていると思います。女性の社会進出は、本人の考え（本人次第、能力）であると思います。もちろん女性の社会進出はたいへん良いことだと思います。男性、女性に関係なく適材適所で能力を發揮できれば良いと思います。
- 県のトップがあのような発言（素直に謝る姿を見せて欲しい。こどもの教育に悪影響である）を、男女共同参画が推進できるのか疑問であり、鹿児島県の恥である。口では男女平等といっても話していく中で本音が出るもので人の心にあるものはなかなか変えられないものだと思うが、いろんな場で男女共同参画を推し進める必要があるのではないだろうか。
- メディアにおいても政治においても男性が主となる場面がほとんどである。いくら男女平等といわれてもそういう場面を幼児期から見ているとどうしてもそのような考え方が意識づけされ、「男尊女卑」ではないが「男高女低」に近い考え方が根強く残っていると思います。

## (50代・女性)

- 教員が管理職になった場合の男女の不平等性を解消して欲しい。
- 女性はただでさえ、育児・家事等忙しいのに、身近に不幸があった時にさえ、男性が仕事を休めないです。遺品整理や手続き等、全部のしかかってきます。役所などの手続き等は女性の方が多いと思います。息子の職場でさえ、そういう休みが取れません。もう少し、男性の職場有休等、考慮していただきたいです。
- H27.8.27に「サイン、コサイン、タンジェントを女の子に教えて何になる？」と発言した我が鹿児島県知事の、男女平等理念に真っ向から反対する発言に只々驚きました。このような人が行政のトップでいらっしゃる事が根本的な問題だと思いました。「女性」という性をひとくくりにしてることが差別で、時代錯誤だと思いました。残念な本心でした。
- わざわざ女性を議員に、管理職に、職場のリーダーにすることは無いと思います。男女を問わず同じ能力を持っているのなら双方に同等の役職や地位を得るチャンスを作り、適格であるなら登用すれば良いことだと思います。ただ、どうしても女性には子どもを産むという大切な役割があります。出産してからもいろいろ大変ですが、お腹にいる期間も子育ての時期に含めて欲しいと思います。男女共同参画社会、とても素晴らしいことですが、子育てはお母さんだけでなくお父さんにもできますが、妊娠・出産は残念ながら女性にしか出来ません。そのことが社会的に不利になることだけは避けていただきたいと思います。ただ…ここ鹿児島では今はそんな事ないよと言われますが知事の発言でもあるように男尊女卑の考え方が根底にまだ一部あると痛感しています。
- 男性・女性それぞれ役割はあると思うが、お互いに対「人」という意識改革が必要だと思う。
- 男だから、女だからという考え方に囚われているうちはダメだと思います。一人一人が家庭で、職場で、社会で自分の役割を考え、自分のやるべきことを課していくことが本当に生きやすい社会になっていくと思います。
- いろいろ勉強不足で、実態が分からない部分もありますが、無理やりに何でも「女性を女性を」と言われている感じがしています。全ての事に平等である必要があるのだろうかと思っていて、主に男性ならではの部分はあります。主に男性がした方が良いことは男性、女性がした方が良いことは女性、どちらでも良い事について、そこで男女の差をはじめからつけることなく、個々の能力で当たり前のように参加すれば、出来れば良いとおもいます。そういう偏見の無い世の中、これまでの歴史的な意識、社会通念を変えていき、個人の才能が、自由に發揮できるようになれば良いと思います。今は少しずつ、それに向かって行く途中なので、多少の無理な登用があるのかなとも思いますが、登用された方が、男性には負けない！！とばかり、肩に力が入り、どうも、女性を登用したにも係らず、男性の様な物言いであったりする場面を見る時、登用された方の考え方の中に、女性であることの大切さを無くさないで欲しいと思います。

## (50代・男性)

- 男女の差別は良くないが、「男らしさ」「女らしさ」という教育は必要だと思う。

- 企業による「男女共同参画社会の実現」への取り組みが不十分であると感じます。その理由を「経営不振のため」とするが、こういった企業への実態調査、促進策をとるべきと考えます。働きたくても働けない実態もありますので、雇用の確保策を講ずる事も必要だと考えます。
- 男性は男性の役割、女性は女性の役割を心得、相互に尊重することが全ての問題を解決できる。親の教育、学校、社会の教育が相互を尊重する人間を育てる。
- リーダーに男女は関係ないと思う。現状では適性があってもリーダーとなって働いて欲しくても、育児や介護で働けない方が多いのではないかと感じています。育児や介護に対するサービスの充実が第一かと思います。老人ホーム不足、保育所（共働き家庭でも預けられる）放課後児童デイサービスの不足等、行政にできていない所を考えたいところです。まずは公務員の職場に保育所を作ると（私企業大手にも協力を求めながら）私企業も例にならうのではないのでしょうか。課税や減免措置等は必要でしょうけれども。
- 学校教育の場とか、PTAに関する考えがあります。私は男でありながらPTAに参加してきましたが、99.9%が母親です。父親は父子家庭かシフト制の仕事の方だけで変な目で見られます。鹿児島市の男性職員が全員、通常の（日曜参観は不可）PTAに参加すると良いのですが、結局仕事で出席できないと言われるだけだと思います。アンケートより、自分たちの行動が先だと思います。
- 単なる平等はかえって不平等をもたらす。身体的に異なるので、女性を考慮した平等にすべき。このままの平等はかえって少子化というさらに重要な問題を生じる。
- 「男性」「女性」ではなく、一人の個人（人間）として捉えられるような社会のシステムになっていけば良いと思います。
- 本県の保守的な状況や、慣例の様相により、全国や国際的レベルでの改善は難しい面が多いと思われる。同時に、女性の中にも男性に任せることを限定することで、ステータスを保つという考え方が未だ根強いようにも思う。ただ、個人的には、性差別的要素の問題点が、様々な面で歪曲されて、自己都合を主張する理由に利用されている状況が少なくないと考えている。男性・女性のそれぞれの特性を活かすことの大事さも、今だからこそ考えるべきだと思っている。
- 女性参画を推し進める上で、女性自身がパートだから、夫がいるからといった意見が多い。女性の意識改革も必要だと強く思う。

#### (60代・女性)

- 保育所を増やしてほしい（病児保育付）・配偶者控除の廃止を希望します。中高生に働くことの大切さの授業をする。（正社員として）納税の意味、健康保険や年金等、社会人としての権利と義務の教育・大切さを知ってもらおう。（社会保険に関することを知らない若者が多いです。）働きがいがあり、夢のもてる社会にしていきたいです。
- 昔と比べれば、かなりの女性進出がなされていると思うがその事が女性の男化、男性の女化の増加要因になっているような気がする。性的に両性の方の存在はもちろん認めた上であくまでも女性として、男性として、平等に参画できることが理想で、女性を忘れて、家庭を忘れての参画ではない。お茶出しは女性がする、という決め方ではなく、この場ではあなたにお茶を出して頂いたほうが場も和むし適切だから、という理由で決めれば良い。男女平等というのは、男らしさ、女らしさを失くすことではない。その意識の教育が必要だと思う。
- 女性が発言しやすい環境を作ることが一番求められていると実感します。
- 女性、男性問わずお互いを認め合える立場の人になって欲しいものです。能力がある人には活躍できる場を提供して欲しい。
- 女性団体や女性のリーダーを育成するだけでなく、そこから活用と育成をしていかなければ何もならない。行政の例も具体的にどのようなポジションに育成リーダーをあてたいのか。リーダーがみつければ目的地点にまで到達させる目標を具体的に持つことが大事だと思う。烏合の衆あつめでは意味がないのでは？そして大事にしたいのはあくまで行政の手足となるリーダー探しではなく、市民の女性の代表者を育ててくださることを希望します。
- 男女は身体的、生理的な差があることは事実なので、まったく同じようにはできないと思う。それを認識した上で、お互いを尊重しつつそれぞれの特性を活かしたことができれば良いと思う。

- 仕事をしている時、常に男性上司のみ。女性が発言すると、会では理解したふりしていましたが、いざ発表される時は1割ほどしか取り上げられなかった思いがあります。この機会を大事に男女均等の教育、社会環境を充実したものにと切に願っています。
- 夫婦で働かないと生活できない時代です。子どもも産んでもらわないといけないので育児サービスを充実させてもらいたい。

(60代・男性)

- まず女性の経済的自立をはかる行政。その次に圧倒的に女性が多い「非正規雇用」というシステムをなくし、均等待遇の実現（短時間就労ふくめて）。充実したセーフティネットの整備（病気、失業、家事都合などに対応）。
- 鹿児島は、男尊女卑が根強くあり「おなごは黙っている」「口出しするな」「おなごのくせに」「おなごはでしゃばんな」を耳にすることがあります。男性におかげ様、感謝の念がないかと思われまます。一人で生きていくことは片時も出来ない我々人間チンケなプライド、自尊心は妨げです。また、世間体と妬みの根強さも鹿児島の発展の妨げの一因と考えます。
- 男女共同参画社会は、10年前からすると随分改善されて良くなってきている。男女平等と言っても性別的な特徴があるのでその利点を活かした社会が望ましい。近年は女性が参加する施策が多く取り入れられているが、この程度で十分と考える。
- 男女がお互いに理解し、各種リーダー等が男女ハーフハーフになるような社会が実現したら良いと思います。
- 女性は随分積極的に行動するようになったが、時に控え目過ぎる（それを美德とする）女性自身が居る。
- 各分野に区別なく男女が同じ立場で参画するため、今までの概念をそれぞれが取り払うことが大切と思う。これは、男の仕事・女の仕事などどちらかがやれる、やる気持ちになること。また周りの人がそう思わない社会になることがいい。
- 高齢化とともに労働環境が変化していく中で女性の社会進出は必須だと思います。そのための環境整備を期待しています。
- 女性自身が意欲を持つような環境になればと思います。一方では男性に負けてなるとばかりに頑張りすぎている女性も見かけました。力まずに役職がこなせるような状況になって欲しいです。
- 女性が社会の中で男性同様に認められ、処遇されることは大切だと思います。まだ具体的な内容が足りないと思います。女性が活躍できるよう、能力開発、自覚、責任を育成し、良い所だけをとるのではなく、現社会が受け入れやすい状況を作り皆で育てていかないといけない。男女平等は当然重要な事です。内容が伴わないといろいろとともに負担になることもあると思います。
- 女性をもっと勉強して一人前になること。

(70歳以上・女性)

- 子どもができたらどちらかが専業として10年ぐらいは仕事をやめて、家事・育児にゆとりを持って携わって欲しい。子供もしっかり愛して育てるほうが社会にとって大切だと思う。その後、復職すれば良いと思う。女性の出産・育児は大きな社会貢献である。男性もこの点をよく理解し、感謝し、尊重すべき。家庭円満に繋がる。独身で働きたい女性については男女共同参画社会が必要。
- 男女共同参画という言葉は随分前から聞いております。地域の中で行事等に参画して意見を言い合い、お互いに納得して行事を遂行していつている状態ではあるが女性の参加が少ないのが現状である。
- 男女共同参画、この言葉は知っていましたが用語解説で基本法・条約等知りました。このような人が多いのではないのでしょうか。
- 優秀な女性がそれ相当の評価を受け、活躍できる世の中になるようにしたら良い。男性から見た評価だけではなく女性の評価。
- 男女共同参画社会は、良い事ですが、お互いに特性がありますので、それを尊重した上での個性と能力が発揮できる社会が望ましいと思います。男性に負けるものかという気持ちはあまり好ましくありません。

## (70歳以上・男性)

- 今後、日本がさらなる発展を望むのであれば女性の社会進出を促しこれを成功するための法律等を整備すべきである。
- まず第一に女性の自覚と、女性が参画するという積極性が必要。いくら男女共同参画と言っても参画する意思を女性自身が持ち要求する必要がある。
- 男女共同参画社会基本法については、実に時代にあった基本法だと思います。「男子厨房に入らず」では無いですが、たしかに男社会であったことは否めません。先進国（日本も先進国と呼ばれていますが）のあらゆる情報、テレビ等による報道を見ているとまだまだ人権等に関しては遅れているように思います。今後は一步一步地道な活動により、より良い社会になっていくことを願ってやみません。
- 男女の差別についてはほとんど無いように感じる。ただ、男女の体力差はあるので仕事内容の差などは仕方ない部分もあると思う。

## (不明)

- 男女の個性・特性を十分考えるべきで、男も子どもを生めごときの考えは良くない。子育ては社会にとって大変重要なこと、社長や課長になるより大事な仕事である。
- 女性が社会に進出し、男女の差なく能力を発揮することはすばらしいことです。大いに賛成です。ですが、社会に女性が進出するにあたっては、女性は女性としての持って生まれた、優しさやしなやかさ、美しさ？という特性を失わず男性に負けない責任ある仕事をしてもらいたいと思います。例えば、職場において、男女平等ということで時に男性がお茶を出し、女性の管理職はふんぞり返っている姿はどうもいただけない。お茶はやはり、優しさを持った女性が出してくれた方が仕事もスムーズに行きます。（お茶くみだって立派な仕事と思います）また、男女共同参画と直接関係ないと思いますが、女性の喫煙の多いこと。特に子育て中の喫煙が子どもに与える影響を考えて欲しいし、たばこを啜るの運転等、目に余るものがあります。何も男女同権だからといってこのようなことまで同権でなくても良いと思う次第です。
- 妊娠、出産後も安心して働けるような体制づくりが必要。配偶者が朝早く仕事に行き、夜遅く帰ってくると結局、家事育児は全て女性がしなければならず、働きたくても働けない。小学校の児童クラブも定員オーバーになると入れない。小4からは児童クラブに入れず、一人でお留守番は難しい。働きたくても働けない。家族（祖父母）の協力が得られる人でなければ働けないのが現状です。働きたいのに働けない人がたくさんいます。
- 色んな面で、社会全体的にまだまだ男性主導の機運が残っており、これからは、女性のリーダー育成、教育等を官民一体となって推し進めていく必要があると思います。
- 性別による区分にこだわっている時点で違和感がある。むしろマイノリティに対する対応、声をどう拾うかを議論すべき。性別による、身体的構造（脳など）もあり、向き不向きがあるはず。男女の参画はおそらく管理職や役員の数や割合等で計られるため、目的を達したいのなら条例等できめたらどうか？多様な声を反映できる政治を期待したい。
- 法律や会社で制度をつくっても無理やりに思う。社会慣行が変化しなければ、理想論のみになると思う。男性が育休を取得しなければ、降格や減給や人事評価に対してマイナスになるなど、社会慣行が無理やり変化するような政策を期待する。
- 男性の意識の改善として、社会・地域活動に参加する様にする。家事・育児を積極的に行うなど、今までの通念を越えた活動をしなければならない。それと同時に女性も仕事に参加し、責任のある役職を経験し、新しいことに挑戦し、社会の大きな部分に貢献する意識が欲しい。（身近にいる女性は、比較的に就労の意識が低い人が多い気がする）
- 子供への教育は大事。家庭で、父も母も一緒に家事をしたり仕事をしたりする姿を見れば、この姿が当然と思うはず。学校ではよく教育して頂いていると思う。家庭での夫婦のあり方がこれかの時代を担うと思う。